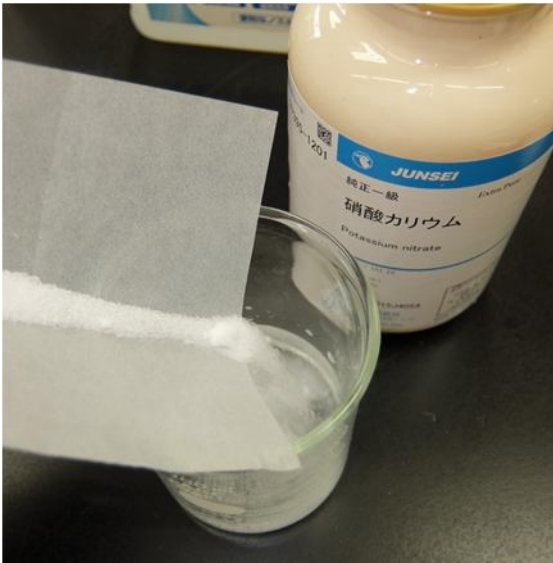


「テンポ・ドロップを作る (4)」

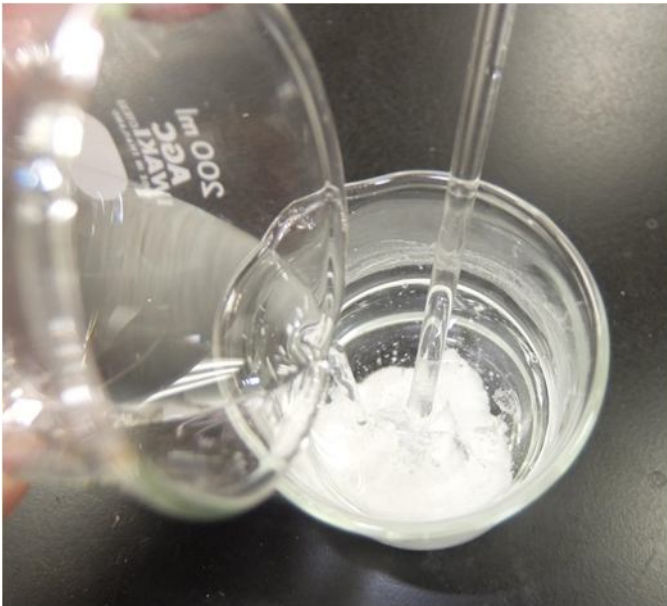
お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋



③次に、精製水 70mL に、硝酸カリウム 5 g と塩化アンモニウム 5 g (合計 10 g) を同時に溶かす。塩化アンモニウムは、食品添加物にも使われるので安全な薬品だ。北欧では、塩化アンモニウムで味付けされた、変わったお菓子を売っている (非常にまずい)。しかし、硝酸カリウムは、火薬の原料にもなるので、単体では危険な薬品である。



⑤全部入れても、再結晶したものが白濁したままで、完全には溶けない。これは混合溶液の温度を上げると溶けるので、湯せんにするか、このように、流しで給湯器のお湯を当てながら溶かすと良い。



④その混合溶液を、最初に作った、「樟脳-エタノール溶液」と混合する。どちらの溶液も、無色透明であるが、混合するとすぐに濁る。溶媒が 2 種類になると、何らかの影響で、溶質のどれかが再結晶するらしい。何度かに分けて、攪拌しながら入れると良い。



⑥完全に溶けたら、適当な透明容器に入れて密栓する。1 時間ほど置くと、結晶が現れ、しだいに沈んで安定する。一応・・・成功したようだ。(つづく)